

1 研究協議レポートの提出について（※詳細は1日目の研修会で連絡済）

(1) レポートの内容、提出方法、提出期限

レポートの内容	提出方法	提出期限
「授業実践の概要及び成果と課題」 ※指導過程を考え、実践した成果と課題をA4判1枚（両面可）にまとめてください。2日目の協議で資料として使用いたします。	作成したファイルをPDF形式に変換し、電子メールにて提出してください。	10月2日(水)

(2) 提出先

電子メール： teaching-p@edu-c.pref.miyagi.jp （担当：総合教育センター教職研修班 田中 恵太 宛て） [添付ファイル名] 理科研_受講番号_所属校名_氏名 ※受講番号は半角数字とし、「_」は半角アンダーバーとする。 【例】「理科研_高1_美田園高校_杜下関夫」 [ファイル形式] PDF [電子メール件名] <u>添付ファイル名と同様に記入</u>

2 研修会当日の日程について

研修の日程は1日目に配付した実施要項のとおりです。12:40~13:10受付となっています。半日研修となりますので、各自昼食を済ませてからご参加ください。

3 持ち物について

- ・高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説理科編理数編
- ・名札
- ・上靴

4 会場および駐車場について

(1) 会場：宮城県仙台第三高等学校

（仙台市宮城野区鶴ヶ谷一丁目19番）

(2) 駐車場：テニスコート側駐車スペース（図中赤枠）の空いているところに駐車してください。



担 当：総合教育センター
 教職研修班 田中
 相談支援班 赤坂
 TEL：022-784-3558
 FAX：022-784-3571
 メール：teaching-p@edu-c.pref.miyagi.jp

1 授業実践について

(1) 題材名：〇〇学校 〇学年 「 ※小单元または題材を記入してください 」

(2) 主な指導の工夫

- ・
 - ・
 - ・
 - ・
- 問題解決(探究)の過程を意識して、「より妥当な考えをつくりだす場面」を取り入れた指導過程を考案したのちに、授業で実践した成果と課題をまとめてください。
⇒より妥当な考えを作り出す場面設定として、考察・推論の場面が行いやすいですが、そのほかの場面でも、検討改善する取り組みを生徒に行わせることで、設定が可能です。
- 他校種の先生方にもわかるように、題材名には校種と学年を記入してください。
(例:小学校6学年、中学校1学年、高等学校2学年)
- 主な指導上の工夫を箇条書きで記入してください。
- 指導過程の一部を抜粋して記入しても構いません。

2 成果と課題

(1) 「より妥当な考えをつくりだす授業づくり」について

成果	課題
・	・
・	・

(2) 「学習評価」について

成果	課題
・	・
・	・

- ・余白やフォント(字体・大きさ)は指定しません。
- ・A4判用紙1枚(両面可)にまとめ、電子メールにて、10月2日まで担当指導主事までご提出ください。
- ・PDF形式でお願いします。
- ・協議においてご自身の実践を紹介していただき、意見交換を行います。